

市民学コース 6 富士見の歴史

定員 60 人

古代から現代までの「富士見市の庶民生活」

～縄文時代から現代まで郷土の歴史を知る～

第一回テーマ 原始 縄文人と弥生人のくらしと文化

講師 隈本 健介氏 水子貝塚学芸員

日 時 6月8日(土) 午前10時から12時
会 場 鶴瀬公民館 第3集会室
受講者数 38名

水子貝塚を紹介すると国史跡で、4万平方メートルの広さがある。

6千年前の竪穴式住居の村落跡が敷地周辺にあり、実のなる樹木が生い茂っている。竪穴式住居は弥生時代以降も使われていた。

教育委員会は、年間約40件、試し掘りをしている。

後で地面に残る痕跡を紹介するが、その生活ぶりは狭いところから覗くように、物を通して窺う。※水子貝塚資料館展示解説「よみがえる富士見の原始古代」参照



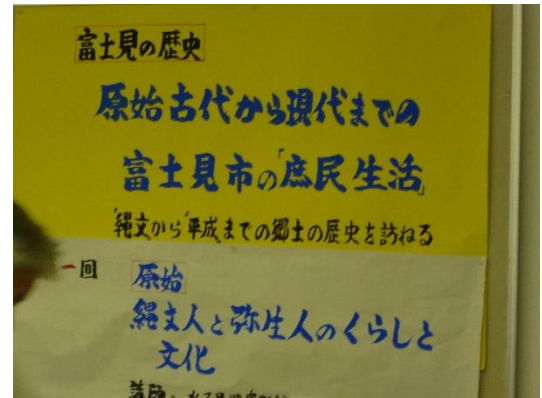
はじめに 以下の項目に沿って講義があった。

- ① 市内の縄文人と弥生時代の遺跡
- ② 縄文人が残した遺物
- ③ 縄文人のムラ(集落跡)のすがた
- ④ 縄文人の生活
- ⑤ 弥生人の残した遺物とムラ(集落跡)のすがた
- ⑥ 弥生人の生活

遺跡とは何か

過去の人々の活動の痕跡の総称。市内59か所ある。地中の埋蔵文化財。住居などの動かすことができないものが遺構、土器や石器などの動かせるもの、遺物が含まれる。

残されたものはごく一部で、後世に工作、災害、戦争、開発行為などにより消滅したものが多いだらう。



① 市内の縄文時代と弥生時代の遺跡；市内のどんな場所に遺跡はあるのか

水を得やすい場所近くの台地上に遺跡が残る。竪穴式住居、平地式住居

3万年前 旧石器時代

一万五千年前 縄文時代 前期 水子貝塚

8百年～1千年前 弥生時代

千七百五十年前 古墳時代 富士見市の北側に全くないが、江川を境に上福岡には存在する。 ※図表；富士見市の歴史のものさしを参照のこと。

○縄文時代の自然環境の変化

縄文海進と海退 貝塚を形成

気温の変化 樹林の変化

大規模火山の噴火

○縄文時代の生活変化

縄文土器 煮炊き

弓矢の発明、飛び道具、落とし穴など

定住化 集落の形成 水子貝塚 縄文の早期後半、竪穴式住居で炉、明かり

② 縄文人が残した遺物

ヤマトシジミ主体90%、イノシシ、鹿など、栗など木の実 ※ 資料P4、5参照

人類進化一様々な道具の発明 遺物道具の種類

第1の道具 用途が形態に表れる

第2の道具 形から用途・昨日の判別が困難 土偶など

第3の道具 非実用・精神世界を支えた道具

③ 縄文人のムラ(集落跡)のすがた

縄文のモデル村(感情・馬蹄形集落)お立て柱、真ん中を意識している作業場か環状集落の意味 氏族共同体干し貝加工場

一時点の実際の姿は、今だ正確には把握されていない。

- (1) 約一万3千年前の縄文草創期から約1千年前の平安時代まで使用
- (2) 竪穴式住居は、様式アジア、ヨーロッパ、アメリカまで確認された建築様式
- (3) 竪穴式住居は夏涼しく、冬暖かく住みやすい？
- (4) 壁の省略 空間確保
- (5) 入手しやすい資材で建築可能
- (6) 建築の容易さ 上屋の構造、資材は草、笹、土屋根などで復元例がある



関東地方は貝塚の密集地帯

全国の半数が存在、縄文時代早期に出現、中期、後期に充実、晩期に終焉
 貝塚とは単なるゴミ捨て場ではない、当時の周辺環境、食糧事情等が復元できる。そこから文化・社会を知る上で貴重な文化財、情報源。

※富士見市内の貝塚分布を参照

水子貝塚から出土した埋葬人骨、犬骨の分析の紹介

④ 縄文人の生活

(1) 竪穴住居の居住人数

姥山貝塚の竪穴住居例 男女各2名、子ども1名

上福岡貝塚の竪穴住居の居住人数 計算公式を作成

(2) ムラの人口は 一時点に5～10軒程度とする分析例が多い

(3) 縄文時代の人口は

様々な研究者の見解があるが、1 ムラ 50～100人として12万人から30万人程度まで幅がある。

(4) 縄文時代の植物利用

縄文時代早期の貝塚遺跡から網カ後が多数出土

土器片にエゴマ・豆類の痕跡 農耕の可能性を示唆

漆塗りの遺物が増加

※資料 縄文カレンダーと弥生人の生活カレンダーを参照

⑤ 弥生人の残した遺物とムラ（集落跡）のすがた

弥生時代の自然環境の変化、生活変化

弥生文化の波及

柳瀬川領域・水子地区に大規模集落の発生

方形周溝墓が築かれた 鉄剣・ガラス玉が出土 有力者の登場

古墳時代の初頭以降から中期 市内では集落跡が途絶する

⑥ 弥生人の生活

「魏志倭人伝」にみる倭人の習俗からうかがう

3世紀末、280年から297年にかけて陳寿によって完成された『三国志』「魏書東夷伝倭人条」に記された倭人の風俗・慣習についての紹介があった。

庶民生活は変わらず、硯の記述から、すでに文字を使用、身分制、律令制が整備されていた？など興味深い内容でした。

